

駅から歩いて15分ほど、閑静な住宅地の中にあるN邸は今から16年前に完成した。Nさんはそれまで近くの団地に住んでいた。

「家が手狭に感じ始めた頃、「共生の大地」という本で、太陽の恵みを頂く。風が通り抜ける家のことを知って、自然との共生。や、地域に密着した工務店の技術を守る。」という思想に感銘を受けたんです。そんな時、鈴木工務店さんとの運命的な出会いがあって、見学会に行くうちに絶対ココで建てようって惚れ込んだんですよ(笑)。」

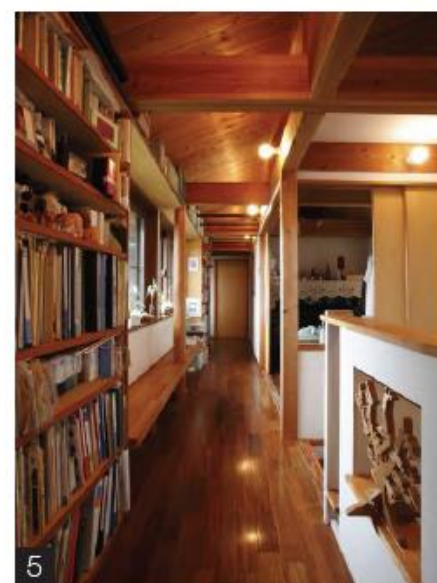
家の中のどこにいても中央に配された庭の緑が爽やかに飛び込んでくる。木の温もりも優しい。生活空間なのに、避暑地の別荘を彷彿とさせるような非日常のエッセンスが漂っている。

「この家は夏の暑い日に帰ってくると涼しくて、冬の寒い日に帰ってくると温かいんです。」そう語るのは「主人だ。」

N邸ではOMソーラーというシステムを使っている。夏の昼間は屋根の熱を排出し室温の上昇を抑えている。夜には放射冷却によって冷えた空気を室内に取りこみ、気持ちのいい風を通す。一方冬は、昼間に集熱した太陽エネルギーを床下に蓄え、ゆっくり放熱し家を温めるという仕組みだ。太陽の熱と空気でさえもデザインされている。

元来、家は呼吸をしていて、昔からその土地の木材で作られていたと話すのは鈴木工務店の鈴木社長だ。宮大工の祖父を持ち、大学の建築学科を卒業した後にはロンドンの設計事務所でも建築に携わってきた。ヨーロッパで触れた文化やぬくもりのある空間と、生家である茅葺の古民家「可喜庵」。二つの要素の融合が、暮らしを豊かにする家づくりの原点となっている。「土地や周囲の環境、光、風、季節のうつろい。自然に逆らわず、自然に呼応することで、地球にも優しい省エネの住まいとなる。」

時と共に、味わいが増してゆく  
我が家を見守るのが本当に楽しくて。  
家づくりは新しい暮らしの第一歩。  
豊かに、人生を謳歌するための住まいとは。  
1887年創業、町田の老舗工務店が取り組む家づくりのレポートです。



1. 庭を挟み廊下や子ども部屋が見えるリビング 2. ゆったりとした玄関前のポーチ 3. 薄く作った手すり階段をより広くしている 4. 季節を感じながら日課の庭仕事を 5. 天井までの本棚とベンチがある2階廊下

「設計段階もとても楽しかったの。当時、まだ子どもだった息子に「楽しい家」というリクエストには廊下をうらんでい、歳をとった両親にはゆったりとした階段のすべり止めに朱色を塗ってくれました。年と共に天井などの木の色味が変わったり、庭も充実してきて、ますます素敵な家に育っています。」

家は生きもの。呼吸もするし、愛情を持って接した分、ちゃんと応えてくれる。「人と家」のいい関係を導き出してくれるような家。  
— N邸には爽やかな心地よい風が吹き抜け、笑顔が溢れていた。



株式会社 鈴木工務店  
195-0053 東京都町田市能ヶ谷3-6-22  
tel 042-735-5771 fax 042-735-3323  
www.suzuki-koututen.co.jp